

2年 国語科 評価規準

教科	単元・学習内容	評価の観点	評価基準(B基準)	評価方法・評価材料
国語	一学期	知識・技能	・類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ・言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づいている。 ・話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。 ・敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使っている。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使おうとしている。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・単語の活用について理解している。 ・第1学年までに学習した漢字に加え、常用漢字(350字～450字)を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	・ペーパーテスト(定期テスト・実力テスト単元確認テストなど)中の 文法問題、語彙の問題、語句の問題、長文読解問題。 ・語彙や文法の知識を用いての活用。 ・語彙の習得を確認するための各小テストの結果など。
		思考・判断・表現	・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や表現の効果について考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。 ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。 ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。 ・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。 ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 ・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。	・ペーパーテスト(定期テスト・実力テスト単元確認テストなど)中の 長文読解問題。 ・作文の作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作や創作、表現等の多様な活動。 ・スピーチや発表などのパフォーマンス課題の結果。 ・ペーパーテストや授業中課題での作文の問題。
		主体的に学習に取り組む態度	・進んで自分の考えを広げたり深めたりし、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。 ・進んで登場人物の設定の仕方などを捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。 ・進んで敬語のはたらきについて理解し、学習したことを生かして課題に取り組みようとしている。 ・積極的に互いの立場や考えを尊重しながら、学習の見通しをもって議論や討論をしようとしている。 ・進んで常用漢字を読み、学習したことを生かして課題に取り組みようとしている。 ・進んで文章の構成や論理の展開について考え、学習課題にそって理解したことや考えたことを説明しようとしている。 ・粘り強く表現の効果を確かめ、資料や根拠を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 ・進んで知識や経験と結びつけ、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。 ・粘り強く文章のよい点や改善点を見だし、学習の見通しをもって短歌や俳句を創作しようとしている。 ・進んで単語の活用について理解し、学習したことを生かして課題に取り組みようとしている。	・ノートや振り返り、課題における記述内容。 ・授業中の発言内容。 ・授業中の行動観察。 ・児童生徒による自己評価や相互評価の様子や記述内容。
	二学期	知識・技能	・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報について理解している。 ・第1学年までに学習した漢字に加え、常用漢字(350字～450字)を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことをとおして、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	・ペーパーテスト(定期テスト・実力テスト単元確認テストなど)中の 文法問題、語彙の問題、語句の問題、長文読解問題。 ・語彙や文法の知識を用いての活用。 ・語彙の習得を確認するための各小テストの結果など。
		思考・判断・表現	・「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係をふまえて内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決めている。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、資料や根拠を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 ・「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係をふまえて内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や表現の効果について考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 ・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決めている。 ・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。	・ペーパーテスト(定期テスト・実力テスト単元確認テストなど)中の 長文読解問題。 ・作文の作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作や創作、表現等の多様な活動。 ・スピーチや発表などのパフォーマンス課題の結果。 ・ペーパーテストや授業中課題での作文の問題。
		主体的に学習に取り組む態度	・進んで文章と図表などを結びつけて内容を解釈し、学習課題にそって考えたことを文章にまとめようとしている。 ・積極的に資料や根拠を用い、学習の見通しをもって説明や提案をしようとしている。 ・進んで常用漢字を読み、学習したことを生かして課題に取り組みようとしている。 ・進んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。 ・粘り強く伝えたいことが明確になるように工夫し、学習の見通しをもって感じたことを書くようとしている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・進んで表現の効果について考え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。 ・積極的に話の構成を工夫し、学習の見通しをもって提案しようとしている。 ・粘り強く文章の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって感じたことや想像したことを書くようとしている。	・ノートや振り返り、課題における記述内容。 ・授業中の発言内容。 ・授業中の行動観察。 ・児童生徒による自己評価や相互評価の様子や記述内容。
	三学期	知識・技能	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ・第1学年までに学習した漢字に加え、常用漢字(350字～450字)を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・ペーパーテスト(定期テスト・実力テスト単元確認テストなど)中の 文法問題、語彙の問題、語句の問題、長文読解問題。 ・語彙や文法の知識を用いての活用。 ・語彙の習得を確認するための各小テストの結果など。
		思考・判断・表現	・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。 ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	・ペーパーテスト(定期テスト・実力テスト単元確認テストなど)中の 長文読解問題。 ・作文の作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作や創作、表現等の多様な活動。 ・スピーチや発表などのパフォーマンス課題の結果。 ・ペーパーテストや授業中課題での作文の問題。
		主体的に学習に取り組む態度	・進んで主張と例示との関係などを捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。 ・粘り強く自分の考えが伝わるように工夫し、学習の見通しをもって自分の考えを書くようとしている。 ・進んで常用漢字を読み、学習したことを生かして課題に取り組みようとしている。	・ノートや振り返り、課題における記述内容。 ・授業中の発言内容。 ・授業中の行動観察。 ・児童生徒による自己評価や相互評価の様子や記述内容。

2年 社会科(地理・歴史) 評価規準

教科	単元・学習内容	評価の観点	評価基準(B基準)	評価方法・評価材料	
社会科 ・地理 ○歴史	一学期	地理 ・地域調査の手法 ・日本の地域的特色 ・日本の諸地域 九州地方、中国・四国地方	知識・技能	○地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けている。 ○日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取り組みなどを基に、日本の自然環境に関する特色を理解している。 ○自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信に基づく地域区分を踏まえ、日本の国土の特色を理解している。 ○九州地方、中国・四国地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。	・事実的な知識の習得を問う問題と、知識の概念的な理解を問う問題とのバランスに配慮したペーパーテスト ・実際に知識や技能を用いる学習場面
		思考・判断・表現	○地域調査において、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○日本の地域的特色を、自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信に基づく地域区分などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ○九州地方において、自然環境の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ○中国・四国地方において、交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。	・思考・判断を問うペーパーテスト ・論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、スライドの制作や表現等の多様な活動	
		主体的に学習に取り組む態度	○地域調査の手法を身につけることで、対象となる地域的特色や課題を追究しようとしている。 ○日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を追究しようとしている。 ○九州地方、中国・四国地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を追究しようとしている。	・振り返りやレポート等における記述内容 ・問題集など提出物の記載内容	
	二学期	歴史 ・ユーラシアの動きと武士の政治の展開 ・ヨーロッパ人との出会いと全国統一 ・江戸幕府の成立と対外政策の変化 ・産業の発達と幕府政治の推移	知識・技能	○元寇(モンゴル帝国の襲来)などを基に、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。 ○南北統一の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。 ○ヨーロッパ来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に近世社会の基礎がつけられたことを理解している。 ○江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。 ○産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解している。 ○近畿地方、中部地方、関東地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している	・事実的な知識の習得を問う問題と、知識の概念的な理解を問う問題とのバランスに配慮したペーパーテスト ・実際に知識や技能を用いる学習場面
		思考・判断・表現	○ユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○世界の動きと統一事業、江戸幕府の成立と対外関係、産業の発達と町人文化、幕府の政治の展開について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○近畿地方において、人口や都市・村落の成立条件を、多面的・多角的に考察し、表現している。 ○中部地方において、産業の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ○関東地方において、交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	・思考・判断を問うペーパーテスト ・論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、スライドの制作や表現等の多様な活動	
		主体的に学習に取り組む態度	○ユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、追究、解決しようとしている。 ○近世の日本について、よりよい社会の実現を視野に追究、解決しようとしている。 ○近畿地方、中部地方、関東地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を追究しようとしている。	・振り返りやレポート等における記述内容 ・問題集など提出物の記載内容	
	三学期	地理 ・日本の諸地域 東北地方 北海道地方	知識・技能	○東北地方、北海道地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。 ○開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。	・事実的な知識の習得を問う問題と、知識の概念的な理解を問う問題とのバランスに配慮したペーパーテスト ・実際に知識や技能を用いる学習場面
		歴史 ・欧米における近代化の進展 ・欧米の進出と日本の開国 ・明治維新	思考・判断・表現	○東北地方において、その他(生活・文化)の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ○北海道地方において、自然環境の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ○欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動きについて、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○近代(前半)の日本と世界を大観して、時代的特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	・思考・判断を問うペーパーテスト ・論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、スライドの制作や表現等の多様な活動
		主体的に学習に取り組む態度	○東北地方、北海道地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を追究しようとしている。 ○近代(前半)の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に追究、解決しようとしている。	・振り返りやレポート等における記述内容 ・問題集など提出物の記載内容	

2年 数学科 評価規準

教科		単元・学習内容	評価の観点	評価基準(B基準)	評価方法・評価材料
数学	一学期	1章 式の計算 2章 連立方程式	知識・技能	・簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 ・具体的な事象の中の数量の関係を文字を用いた式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。 ・文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解している。 ・目的に応じて、簡単な等式を変形することができる。 ・二元一次方程式とその解の意味を理解している。 ・連立方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。 ・簡単な連立方程式を解くことができる。	・知識と技能を問うペーパーテスト。 ・スライド、小テストやプリントなど
			思考・判断・表現	・具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連づけて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。 ・文字を用いた式を具体的な場面で活用することができる。 ・一元一次方程式と関連づけて、連立方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ・連立方程式を具体的な場面で活用することができる。	・思考・判断・表現を問うペーパーテスト。 ・スライド、小テストやプリントなど
			主体的に学習に取り組む態度	・文字を用いた式、連立方程式の必要性和意味を考えようとしている。 ・文字を用いた式、連立方程式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ・文字を用いた式、連立方程式を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	・授業プリントへの取り組み状況、問題集への記載内容 ・授業内での発言内容や姿勢 ・生徒本人による自己評価や相互評価の様子や記述内容など
	二学期	3章 一次関数 4章 図形の調べ方 5章 図形の性質と証明	知識・技能	・一次関数について理解している。 ・事象の中には一次関数として捉えられるものがあることを理解している。 ・二元一次方程式を関数を表す式とみることができる。 ・平行線や角の性質を理解している。 ・多角形の角についての性質を見いだすことができる。 ・平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。 ・証明の必要性和意味及びその方法について理解している。 ・直角三角形に合同条件について理解することができる。 ・証明の必要性和意味及びその方法について理解することができる。	・知識と技能を問うペーパーテスト。 ・スライド、小テストやプリントなど
			思考・判断・表現	・一次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連づけて考察し表現することができる。 ・一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 ・基本的な平面図形の性質を見いだし、平行線や角の性質をもとにしてそれらを確かめ説明することができる。 ・三角形の合同条件などをもとにして図形の性質を論理的に確かめることができる。 ・三角形の合同条件などをもとにして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見いだしたりすることができる。 ・三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用することができる。	・思考・判断・表現を問うペーパーテスト。 ・スライド、小テストやプリントなど
			主体的に学習に取り組む態度	・一次関数、図形の性質などを証明することの必要性和意味を考えようとしている。 ・一次関数、平面図形の性質、三角形や平行四辺形の性質について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ・一次関数、平面図形の性質、三角形や平行四辺形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	・授業プリントへの取り組み状況、問題集への記載内容など ・授業内での発言内容や姿勢 ・生徒本人による自己評価や相互評価の様子や記述内容
	三学期	6章 場合の数と確率 7章 箱ひげ図とデータの活用	知識・技能	・多数回の試行によって得られる確率と関連づけて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を理解している。 ・簡単な場合について確率を求めることができる。 ・箱ひげ図や四分位範囲の必要性和意味を理解している。 ・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し、箱ひげ図で表すことができる。	・知識と技能を問うペーパーテスト。 ・スライド、小テストやプリントなど
			思考・判断・表現	・同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。 ・確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現することができる。 ・箱ひげ図や四分位範囲を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。	・思考・判断・表現を問うペーパーテスト。 ・スライド、小テストやプリントなど
			主体的に学習に取り組む態度	・場合の数をもとにして得られる確率、箱ひげ図や四分位範囲の必要性和意味を考えようとしている。 ・確率、箱ひげ図や四分位範囲について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ・確率、箱ひげ図や四分位範囲を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	・授業プリントへの取り組み状況、問題集への記載内容など ・授業内での発言内容や姿勢 ・生徒本人による自己評価や相互評価の様子や記述内容

2年 理科 評価規準

教科		単元・学習内容	評価の観点	評価基準(B基準)	評価方法・評価材料
理科	一学期	〔物質〕化学変化と原子・分子 〔生命〕生物の体のつくりとほたらき	知識・技能	・生成した物質の性質を調べるために、実験器具等を適切に選択し、これらの基本操作を行っている。 ・化学変化、分解（熱・電気による）・物質どうしが結びつく反応・還元について理解している。 ・物質は原子からできていることを理解し、いくつかの原子が結びついて分子ができていることを説明している。 ・化合物の組成を考えて、化学式をつくり、化学変化を原子・分子のモデルと関連づけながら、化学反応式で表している。 ・2種類以上の物質が結びつく変化や分解などの化学変化について理解している。 ・化学変化と熱の出入りの関係を理解している。 ・化学変化の前後で物質の質量の総和が等しいことを理解し、反応前後の質量を測定している。 ・単細胞生物と多細胞生物の成り立ちを理解している。また、多細胞生物の体を組織や器官の用語を使って説明している。	・定期テスト ・実技テストなどのパフォーマンステスト ・観察・実験のレポート、ワークシート ・小テスト ・授業中の発言内容
			思考・判断・表現	・もとの物質とは異なる性質をもった別の物質に分かれたことを説明している。 ・原子のモデルを用いて、分子がどのようにできているかを表現している。 ・原子・分子のモデルから化学反応式をつくっている。 ・物質が酸化される化学変化を原子・分子のモデルと関連づけながら、化学反応式で表している。 ・化学変化の前後で反応に関係する物質全体の質量が変わらないことを、説明している。 ・金属の質量とその金属に結びつく酸素の質量の関係性について、仮説を確かめるために、どのような実験をすればよいと説明している。 ・実験結果を分析・解釈し、化学変化における物質の質量の比が一定になっていることを表現している。 ・単細胞生物と多細胞生物の成り立ちを理解している。また、多細胞生物の体を組織や器官の用語を使って説明している。	・論述や観察・実験レポートの作成、発表 ・定期テスト ・小テストなど
			主体的に学習に取り組む態度	・水が分解するとどうなるかという問題に進んで関わり、結果を予想しながら、科学的に探究しようとしている。 ・水の状態変化と水の電気分解の違いについて、原子や分子のモデルを用いて説明しようとしている。 ・硫黄による鉄の変化に関心をもち、確かめようとしている。 ・化学変化による熱の利用に興味をもっている。 ・薄い塩酸と炭酸水素ナトリウムの反応における質量の変化について興味をもち、調べようとしている。 ・金属と結びつく酸素の質量について、実験計画をもとに実験を行っている。 ・積極的に顕微鏡観察を行い、細胞のつくりの特徴を見いだそうとしている。	・ワークシートやレポート等における記述内容 ・授業中の発言内容 ・行動観察 ・提出物など
	二学期	〔生命〕生物の体のつくりとほたらき 〔地球〕地球の大気と天気の変化	知識・技能	・図を見て、植物と動物の細胞のつくりの共通点と相違点、各部の名称・ほたらきを説明している。 ・光合成のしくみを、原料・生成物・利用するエネルギーに分けて説明している。 ・植物が呼吸を行っていること、植物のはたらきについて、説明している。 ・炭水化物、タンパク質、脂肪を分解することが消化であることを説明している。 ・大気圧が空気の重さによって生じることを理解している。 ・空気中に水滴が現れるしくみと関連づけて露点を理解しており、露点を正しく測定しており、温度の意味を理解している。 ・天気図から天気や風向・風力を読み取ったり、雲画像から雲の分布の特徴を読み取っている。 ・日本の四季の気圧配置の特徴を天気図などから読み取り、天気の特徴とそれが生じるしくみを理解している。 ・数日間の気象要素や天気図、雲画像などを根拠に天気が予想できることを理解している。	・定期テスト ・実技テストなどのパフォーマンステスト ・観察・実験のレポート、ワークシート ・小テスト ・授業中の発言内容
			思考・判断・表現	・細胞呼吸とは、生きるためのエネルギーを取り出すほたらきて、栄養分と酸素が必要で二酸化炭素と水ができることを説明しており、呼吸の本質が細胞呼吸であることを考察している。 ・対照実験の意味について説明し、また、実験結果から、光合成の原料として、二酸化炭素が必要であることを説明している。 ・表皮・肺胞があることにより、表面積を広くしていることを理解している。 ・血液循環のしくみについて、小学校段階での内容を理解し、問題を見いだしている。 ・反応までに時間がかかることを、中枢神経と末梢神経の関係などをもとに考察している。 ・雲や霧が発生するしくみに興味をもち、身近な気象現象について考え、どのようなしくみが考えられるのかを表現している。 ・露点の測定結果から、空気中の水蒸気量を推定している。 ・天気図と観測データを関連づけて、前線の通過に伴う天気の変化を説明している。 ・日本の四季の天気の特徴について説明している。	・論述や観察・実験レポートの作成、発表、 ・定期テスト ・小テストなど
			主体的に学習に取り組む態度	・光合成と葉緑体の関係について、他者と協力しながら、観察結果や資料などから考察しようとしている。 ・実験に協力して参加し、唾液のはたらきを調べようとしている。 ・学習内容をふり返り、動物の生命を維持するしくみについて、血液循環と、消化・吸収、呼吸、排出のはたらきのいずれかを関連づけて理解している。 ・天気が、陸や海からどのような影響を受けているか、進んで調べている。 ・必要な気象データが何か、理由を含めて説明し、計画を立てている。 ・天気の変化がもたらす恵みや災害について、その原因とともに理解し、災害への備えについて考えようとしている。	・ワークシートやレポート等における記述内容 ・授業中の発言内容 ・行動観察 ・提出物など
	三学期	〔エネルギー〕電流とその利用	知識・技能	・直列回路と並列回路があることを理解し、電流・電圧をそれぞれ測定し、規則性があることを実験から求め、理解している。 ・電源装置などを使って、抵抗器に加わる電圧を変化させたときに流れる電流の大きさの変化を調べている。 ・電気抵抗により、物体が導体と不導体に分けられる。また、電力の定義とその単位、電力の求め方を理解している。 ・静電気の性質や電子の性質を理解し、電子は電流を担っていることを理解している。 ・放射線にはX線、α線、β線、γ線などがあり、透過力があること、放射線は医療や産業などで利用されているが、生物に影響を与えることもあることを理解している。 ・導線などを使って、電流がつくる磁界や磁石とコイルなどを使って、電流が磁界から受ける力を調べており、モーターが回転するしくみを理解している。 ・電磁誘導において発生する誘導電流や、発電機のしくみ、直流・交流について理解している。	・定期テスト ・実技テストなどのパフォーマンステスト ・観察・実験のレポート、ワークシート ・小テスト ・授業中の発言内容
			思考・判断・表現	・実験1・2の結果から、直列回路と並列回路での電流・電圧の規則性を見いだしている。 ・実験3の結果から、抵抗器などに加わる電圧が大きくなると、流れる電流が大きくなることを見いだしている。 ・電流、電圧、抵抗、電流を流した時間など、複数の要因から考えるか、消費電力の大きな器具ほど多くの熱量を発生するという日常経験から考えている。 ・実験4の結果から、電流による発熱量は電力と時間に比例することを見いだしている。 ・実験5の結果から、静電気の間にはたらく関係性を見いだしている。 ・実験6の結果から、導線を流れる電流のまわりには磁界ができ、その規則性を見いだしている。 ・実験7の結果から、磁界中の電流は力を受け、電流や磁界の向きを逆にすると力の向きは逆に、電流や磁界が大きくなると力は大きくなることを見いだしている。 ・実験8の結果から、コイルの中の磁界を変化させると誘導電流が発生し、強い磁石を使う、コイルの巻数を多くすることで、発生する誘導電流が大きくなることを見いだしている。	・論述や観察・実験レポートの作成、発表、 ・定期テスト ・小テストなど
			主体的に学習に取り組む態度	・実験を通して、作成した回路がうまく機能するしくみを追究し、図に表そうとしている。 ・直列回路と並列回路での豆電球の明るさの違いの原因について電圧の加わり方の違いを通して、調べている。 ・電圧と電流の関係を表すグラフから、抵抗器に流れる電流は電圧に比例し、傾きが電流の流れやすさ・流れにくさを表していることについて考えようとしている。 ・電力量の求め方、電力量の単位、電気器具から発生する熱量や消費するエネルギーとの関係を見いだそうとしている。 ・電流が流れているときは、電子が一極から十極に向かう流れをモデル化するなど、自分なりの方法で表現している。 ・導線やコイルを流れる電流がつくる磁界の向きや大きさについて、観察結果と関連づけながら、論理的に矛盾のない説明をしようとしている。	・ワークシートやレポート等における記述内容 ・授業中の発言内容 ・行動観察 ・提出物など

2年 音楽科 評価規準

教科		単元・学習内容	評価の観点	評価基準(B基準)	評価方法・評価材料
音楽	一学期	・校歌（歌唱） ・翼をください（歌唱） ・やさしさに包まれたなら（歌唱） ・サンタルチア（歌唱） ・夏の思い出（歌唱） ・アルトリコーダー（器楽） ・フーガト短調（鑑賞） ・楽典	知識・技能	・曲想や音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	・単元テスト ・実技テスト ・ワーク・ノート・配布プリント等
			思考・判断・表現	・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことに関わりについて考えている。 ・どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや味わって聴いたりしている。	・授業態度 ・ペーパーテスト ・実技テスト ・ワーク・ノート等・配布プリント
			主体的に学習に取り組む態度	・音や音楽、音楽文化に親しむよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・授業態度 ・観察 ・ワーク・ノート・配布プリント等の記述内容
	二学期	・アイーダ（鑑賞） ・アルトリコーダー（器楽） ・交響曲第5番 /ハ短調（鑑賞） ・創作	知識・技能	・曲想や音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	・ペーパーテスト ・実技テスト ・ワーク・ノート・配布プリント等
			思考・判断・表現	・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことに関わりについて考えている。 ・どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや味わって聴いたりしている。	・授業態度 ・ペーパーテスト ・実技テスト ・ワーク・ノート等・配布プリント
			主体的に学習に取り組む態度	・音や音楽、音楽文化に親しむよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・授業態度 ・観察 ・ワーク・ノート・配布プリント等の記述内容
	三学期	・世界の諸民族の音楽 ・打楽器アンサンブル ・My Own Road（合唱） ・アルトリコーダー（器楽） ・楽典	知識・技能	・曲想や音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	・授業態度 ・ペーパーテスト ・実技テスト ・ワーク・ノート等・配布プリント
			思考・判断・表現	・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことに関わりについて考えている。 ・どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや味わって聴いたりしている。	・授業態度 ・ペーパーテスト ・実技テスト ・ワーク・ノート等・配布プリント
			主体的に学習に取り組む態度	・音や音楽、音楽文化に親しむよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・授業態度 ・観察 ・ワーク・ノート・配布プリント等の記述内容

2年 美術科 評価規準

教科		単元・学習内容	評価の観点	評価基準(B基準)	評価方法・評価材料
美術	一学期	一点透視図法 工芸	知識・技能	発想や構想したことを表す為に、形や色彩などの生かし方を考え、美術作品について基礎的な理解を加えて、計画的に制作している。	実技・作品や提出物の記述内容など
			思考・判断・表現	美術文化に対する、よさや美しさなどを味わい、想像力を働かせて、考えたことを表現に結びつけることができる。	作品や提出物の記述内容など
			主体的に学習に取り組む態度	美しいものに感動し、意欲をもって主体的に学習活動に取り組もうとしている。	発言・発表・課題プリントの取組み内容など、学びの見通しを持って主体的に取り組んでいるか
	二学期	ステンシル デザイン発展	知識・技能	発想や構想したことを表す為に、形や色彩などの生かし方を考え、美術作品について基礎的な理解を加えて、計画的に制作している。	実技・作品や提出物の記述内容・定期考査など
			思考・判断・表現	美術文化に対する、よさや美しさなどを味わい、想像力を働かせて、考えたことを表現に結びつけることができる。	作品や提出物の記述内容・定期考査など
			主体的に学習に取り組む態度	美しいものに感動し、意欲をもって主体的に学習活動に取り組もうとしている。	発言・発表・課題プリントの取組み内容など、学びの見通しを持って主体的に取り組んでいるか
	三学期	工芸	知識・技能	発想や構想したことを表す為に、形や色彩などの生かし方を考え、美術作品について基礎的な理解を加えて、計画的に制作している。	実技・作品や提出物の記述内容など
			思考・判断・表現	美術文化に対する、よさや美しさなどを味わい、想像力を働かせて、考えたことを表現に結びつけることができる。	作品や提出物の記述内容など
			主体的に学習に取り組む態度	美しいものに感動し、意欲をもって主体的に学習活動に取り組もうとしている。	発言・発表・課題プリントの取組み内容など、学びの見通しを持って主体的に取り組んでいるか

2年 保健体育科 評価規準

教科		単元・学習内容	評価の観点	評価基準(B基準)	評価方法・評価材料
保健 体育	一学期	【体育分野】 ・新体力テスト ・陸上競技(短距離走・ ハードル走・走り幅跳び) ・器械運動 【保健分野】 スポーツの意義や効果と 学び方や安全な行い方	知識・技能	【体育分野】 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 【保健分野】 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	【体育分野】 ・授業内における各種の運動の技能テスト。 ・各単元ごとのワークシート等 【保健分野】 ・ペーパーテストやワークシート。
			思考・判断・表現	【体育分野】 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【保健分野】 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	【体育分野】 ・各単元ごとのワークシート 【保健分野】 ・ペーパーテストやワークシート
			主体的に学習に 取り組む態度	【体育分野】 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。 【保健分野】 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。	【体育分野】 ・観察やワークシート 【保健分野】 ・観察やワークシート
	二学期	【体育分野】 ・水泳 ・バレーボール ・サッカー ・陸上競技(長距離走) 【保健】 健康な生活と疾病の予防 ②	知識・技能	【体育分野】 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 【保健分野】 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	【体育分野】 ・授業内における各種の運動の技能テスト。 ・各単元ごとのワークシート等 【保健分野】 ・ペーパーテストやワークシート。
			思考・判断・表現	【体育分野】 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【保健分野】 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	【体育分野】 ・各単元ごとのワークシート 【保健分野】 ・ペーパーテストやワークシート
			主体的に学習に 取り組む態度	【体育分野】 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。 【保健分野】 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。	【体育分野】 ・観察やワークシート 【保健分野】 ・観察やワークシート
	三学期	【体育分野】 ・バスケットボール ・ソフトボール ・剣道 【保健分野】 傷害の防止	知識・技能	【体育分野】 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 【保健分野】 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	【体育分野】 ・授業内における各種の運動の技能テスト。 ・各単元ごとのワークシート等 【保健分野】 ・ペーパーテストやワークシート。
			思考・判断・表現	【体育分野】 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【保健分野】 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	【体育分野】 ・各単元ごとのワークシート 【保健分野】 ・ペーパーテストやワークシート
			主体的に学習に 取り組む態度	【体育分野】 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。 【保健分野】 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。	【体育分野】 ・観察やワークシート 【保健分野】 ・観察やワークシート

2年 技術・家庭科 評価規準

教科		単元・学習内容	評価の観点	評価基準(B基準)	評価方法・評価材料
技術・家庭科	一学期	エネルギー変換に関する技術 ・エネルギー変換と利用 ・発電の仕組みと特徴 ・電気回路について ・電気機器を安全に使用するための技術 ・電気機器の設計、製作	知識・技能	・生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について知る。 ・発電の仕組みと特徴について理解している。 ・電源の種類や特徴、送電・配電のしくみを理解している。 ・電気回路の仕組みについて理解し、簡単な電気回路を回路図で表すことができる。 ・電気機器の安全な使い方について理解している。	・ノートやレポート、ペーパーテスト等における記述内容 ・授業中の発言内容 ・行動観察(実習や・実技テスト) ・児童生徒による自己評価や相互評価の様子や記述内容
			思考・判断・表現	・様々な発電方法に込められた技術の工夫について考えようとしている。 ・送電・配電の技術の工夫について考えている。 ・電気による事故を防ぐ方法について考えている。	・ノートやレポート、ペーパーテスト等における記述内容 ・発表、グループでの話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動の中で見取ります。
			主体的に学習に取り組む態度	・主体的にエネルギー変換の技術について考えようとしている。	・振り返りシートやノート、レポート等における記述内容 ・発表、グループでの話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動の中で見取ります。
		理のための食品の選択と調理の技術 ・食品の選択と調理 ・食品の加工と保存 ・食品の安全と衛生	知識・技能	・日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。 ・日常生活と関連付け、用途に応じた生鮮食品や加工食品の選択について理解しているとともに適切にできる。	・ノートやレポート、ペーパーテスト等における記述内容 ・授業中の発言内容 ・行動観察(実習や・実技テスト) ・児童生徒による自己評価や相互評価の様子や記述内容
			思考・判断・表現	・食品の選択について、問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・自分や家族の食生活や消費生活について問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・ノートやレポート、ペーパーテスト等における記述内容 ・発表、グループでの話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動の中で見取ります。
			主体的に学習に取り組む態度	・食品の選択について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し実践しようとしている。 ・よりよい食生活を目指して、食事の役割や栄養、献立、調理などについて、工夫し創造し実践しようとしている。	・振り返りシートやノート、レポート等における記述内容 ・発表、グループでの話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動の中で見取ります。
	二学期	エネルギー変換に関する技術 ・電気機器の設計、製作	知識・技能	・製作に必要な図の描き方や見方を理解している。 ・材料と加工の技術の概念について理解している。 ・目的とする加工に応じた工具や機器について理解している。 ・安全・適切な制作や修正をする技術や技能を身に付けている。	・ノートやレポート、ペーパーテスト等における記述内容 ・授業中の発言内容 ・行動観察(実習や・実技テスト) ・児童生徒による自己評価や相互評価の様子や記述内容
			思考・判断・表現	・材料の選択や成型の方法などを理解し、設計を具体化する力を身につけている。 ・材料と加工の最適化について考えている。 ・材料と加工の技術に込められた工夫を読み取ることができる。	・ノートやレポート、ペーパーテスト等における記述内容 ・発表、グループでの話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動の中で見取ります。
			主体的に学習に取り組む態度	・より良い生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫しようとしている。 ・他者と協働して粘り強く取り組もうとしている。 ・主体的に材料と加工の技術について考えようとしている。	・振り返りシートやノート、レポート等における記述内容 ・発表、グループでの話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動の中で見取ります。
		住まいの役割と安全な住まい方 ・住居の構造と設備 ・住居の環境と安全 ・住居の維持と管理	知識・技能	・家族の生活と住空間との関わりについて理解し、住居の基本的な機能について理解している。 ・室内の空気環境など、家族の健康・快適・安全を考えた住空間の整え方について理解している。 ・自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	・ノートやレポート、ペーパーテスト等における記述内容 ・授業中の発言内容 ・行動観察(実習や・実技テスト) ・児童生徒による自己評価や相互評価の様子や記述内容
			思考・判断・表現	・室内の空気環境など、家族の健康・快適・安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫している。 ・家庭内の事故の予防や対策など家族の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫している。 ・自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫している。	・ノートやレポート、ペーパーテスト等における記述内容 ・発表、グループでの話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動の中で見取ります。
			主体的に学習に取り組む態度	・住文化の継承について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し実践しようとしている。 ・よりよい住生活を目指して、住居の機能と安全な住まい方について、工夫し創造し実践しようとしている。	・振り返りシートやノート、レポート等における記述内容 ・発表、グループでの話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動の中で見取ります。
	三学期	情報に関する技術 ・システムプログラムの製作 ・デジタル作品(スクラッチによるゲーム)の設計・製作 ・デジタル作品の評価・修正	知識・技能	・情報セキュリティの基本的な知識について理解している。 ・情報の特性を理解して、情報を安全に利用することができる。	・ノートやレポート、ペーパーテスト等における記述内容 ・授業中の発言内容 ・行動観察(実習や・実技テスト) ・児童生徒による自己評価や相互評価の様子や記述内容
			思考・判断・表現	・主体的に情報の技術について考えようとしている。 ・情報の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方、考え方」に気づくことができる。	・ノートやレポート、ペーパーテスト等における記述内容 ・発表、グループでの話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動の中で見取ります。
			主体的に学習に取り組む態度	・情報の安全を確保するために必要な判断や対応をする力を身に付けようとしている。 ・主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている。	・振り返りシートやノート、レポート等における記述内容 ・発表、グループでの話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動の中で見取ります。
		私たちの消費生活 責任ある消費者になるために ・消費生活の権利と責任 ・消費生活の安全と安心 ・消費生活の持続可能性	知識・技能	・物資・サービスについて理解し、購入方法や支払い方法の特徴を理解している。 ・消費者トラブルの事例とその対応について理解している。 ・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	・ノートやレポート、ペーパーテスト等における記述内容 ・授業中の発言内容 ・行動観察(実習や・実技テスト) ・児童生徒による自己評価や相互評価の様子や記述内容
			思考・判断・表現	・自分に合った金銭管理の方法を考え、工夫している。 ・消費生活の権利と責任について理解している。 ・消費者の基本的な権利と責任について理解している。	・ノートやレポート、ペーパーテスト等における記述内容 ・発表、グループでの話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動の中で見取ります。
			主体的に学習に取り組む態度	・計画的な金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し実践しようとしている。 ・商品(物資・サービス)の選択について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・自立した消費者としての社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し実践しようとしている。	・振り返りシートやノート、レポート等における記述内容 ・発表、グループでの話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動の中で見取ります。

2年 英語科 評価規準

教科		単元・学習内容	評価の観点	評価基準(B基準)	評価方法・評価材料
英語	一学期	Program 1 New Start Step 1 Program 2 Koshien Project in Africa Power-Up 1 天気予報を聞こう Step 2 Program 3 Taste of Culture Our Project 4 海外でヒットするラーメンのCMを作ろう Reading 1 The Three Dolls Power-Up 2 電話をかけよう	知識・技能	・未来表現や動名詞の意味や働きの理解している。 ・未来表現や動名詞の意味や働きの理解をもとに、予定や楽しみなどについて伝え合う技能を身に付けている。 ・言い方がわからない単語を自分が知っている表現を使って説明する方法を理解している。 ・言い方がわからない単語を自分が知っている表現を使って説明する方法を理解し、伝える技能を身に付けている。 ・接続詞の意味や働きを理解している。 ・接続詞の意味や働きの理解をもとに、自分が思っていることや過去のある時点にしたことなどについて伝え合う技能を身に付けている。 ・天気予報で使う語句や表現を理解している。 ・天気予報で使う語句や表現の理解をもとに、内容を聞き取る技能を身に付けている。 ・おすすめのものの魅力について、効果的な伝え方を理解している。 ・おすすめのものの魅力について、効果的に伝える技能を身に付けている。 ・おすすめ(名詞的・副詞的・形容詞的用法)の意味や働きを理解している。 ・不定詞(名詞的・副詞的・形容詞的用法)の意味や働きの理解をもとに、したいことや行動の目的などについて伝え合う技能を身に付けている。 ・既習の言語材料の意味や働きの理解している。 ・既習の言語材料の意味や働きの理解をもとに、「ラーメンの魅力を伝える」というプレゼンテーションを行なう技能を身に付けている。 ・場面や登場人物の心情を表す表現を理解している。 ・場面や登場人物の心情を表す表現を理解し、読み取る技能を身に付けている。 ・電話で使う語句や表現を理解している。 ・電話で使う語句や表現を理解し、用件を聞き取ったり情報を伝えたりする技能を身に付けている。	・ペーパーテスト(定期テスト・実力テスト・単元テストなど)中の文法問題、語彙の問題、リスニング問題の結果。 ・実際に知識や技能を用いる学習場面を設け、様子を見る。 ・提出物の内容など
			思考・判断・表現	・自分の考えや気持ちを相手にわかってもらうために、語りたい遊びやイベントについて、具体的な内容とともに伝えている。 ・自分の小さいころの思い出を相手に伝えるために、当時したことや自分の考えなどを具体的な内容とともに伝えている。 ・カナダの天気を知るために、天気予報を聞いて、地名、天気、気温など必要な情報を捉えている。 ・地域のイベントで売りたいものについて、自分の考えを相手にわかってもらうために、その目的や具体的な内容とともに伝えている。 ・グループで考えたラーメンの魅力が相手に伝わるように、考えや情報を整理して効果的にプレゼンテーションを行っている。 ・物語について自分の考えを伝えるために、The Three Dollsの物語を読んで、その概要や登場人物の心情を捉えている。 ・物語について自分の考えを伝えるために、3つの人形の特徴を読み取り、そのよい点について説明している。 ・電話の相手に満足に持ってくるべきものがわかるように、理由も含めて伝えている。 ・困っている友だちを助けるために、必要な情報を整理して伝えている。	・ペーパーテスト中(定期テスト・実力テスト・単元テストなど)の長文読解、英作文の問題の結果。 ・ライティング課題の作成、発表、作品の制作や表現等の多様な活動の中で見取る。 ・パフォーマンス課題の結果など
			主体的に学習に取り組む態度	・自分の考えや気持ちを相手にわかってもらうために、語りたい遊びやイベントについて、具体的な内容とともに伝えようとしている。 ・自分の小さなころの思い出を相手に伝えるために、当時したことや自分の考えなどを具体的な内容とともに伝えようとしている。 ・カナダの天気を知るために、天気予報を聞いて、地名、天気、気温など必要な情報を捉えようとしている。 ・地域のイベントで売りたいものについて、自分の考えを相手にわかってもらうために、その目的や具体的な内容とともに伝えようとしている。 ・グループで考えたラーメンの魅力が相手に伝わるように、考えや情報を整理して効果的にプレゼンテーションを行おうとしている。 ・物語について自分の考えを伝えるために、The Three Dollsの物語を読んで、その概要や登場人物の心情を捉えようとしている。 ・物語について自分の考えを伝えるために、3つの人形の特徴を読み取り、そのよい点について説明しようとしている。 ・電話の相手に満足に持ってくるべきものがわかるように、理由も含めて伝えようとしている。 ・困っている友だちを助けるために、必要な情報を整理して伝えようとしている。	・パフォーマンス課題での取り組みや発表への姿勢 ・生徒による自己評価や相互評価の様子や記述内容 ・宿題などの提出物など
	二学期	Program 4 Leave Only Footprints Power-Up 3 レストランで食事をしよう Step 3 Program 5 Work Experience Program 6 High-Tech Nature Power-Up 4 メールで近況報告をしよう Step 4 Our Project 5 日本のおすすめスポートを紹介しよう Reading 2 Friendship beyond Time and Borders	知識・技能	・感情の原因を表す不定詞、mustやhave to ーの意味や働きの理解している。 ・感情の原因を表す不定詞、mustやhave to ーの意味や働きの理解をもとに、うれしかったことやしなければならぬことなどについて伝え合う技能を身に付けている。 ・レストランへの入店から注文までに使う表現を理解している。 ・レストランへの入店から注文までに使う表現を理解し、おすすめメニューなどを聞き取る技能を身に付けている。 ・読み手にわかりやすい見出しをつけるための具体的な方法を理解している。 ・読み手にわかりやすい見出しにするための具体的な方法を理解し、表現する技能を身に付けている。 ・how to ー、<look+形容詞>、<give+人+もの>の意味や働きの理解している。 ・how to ー、<look+形容詞>、<give+人+もの>の意味や働きの理解をもとに、やり方、人やものの様子などについて伝え合う技能を身に付けている。 ・比較表現の意味や働きの理解している。 ・比較表現の意味や働きの理解をもとに、身近な事柄について自分の考えを伝え合う技能を身に付けている。 ・メール文で使う表現や時間制を理解している。 ・メール文で使う表現や時間制の理解をもとに、受信したメールの概要を読み取る技能を身に付けている。 ・わかりやすい説明に必要な要素や、説明する順序を理解している。 ・わかりやすい説明に必要な要素や、説明する順序を理解し、相手が知らない事柄について簡単な語句や文を用いて伝える技能を身に付けている。 ・既習の言語材料の意味や働きの理解している。 ・既習の言語材料の意味や働きの理解をもとに、日本のおすすめスポットについて書く技能を身に付けている。 ・時間の経過や人物の心情を表す表現を理解している。 ・時間の経過や人物の心情を表す表現の理解をもとに、トルコと日本の友情関係について、概要や要点を読み取る技能を身に付けている。	・ペーパーテスト(定期テスト・実力テスト・単元テストなど)中の文法問題、語彙の問題、リスニング問題の結果。 ・実際に知識や技能を用いる学習場面を設け、様子を見る。 ・提出物の内容など
			思考・判断・表現	・修学旅行を快適に過ごすために、クラスメートが納得できるようなルールを書いている。 ・レストランで食事をするために、自分が食べたいものやおすすめのメニューなどについて、伝えたり、たずねたりしている。 ・相談にきた人の悩みを解決するために、悩んでいる内容を理解し、実行しやすいアドバイスを伝えている。 ・自分の考えや気持ちが相手に伝わるように、自分を取り組めそうな省エネ対策について、現状と比較しながらわかりやすく伝えている。 ・自分の近況を相手に伝えるために、最近の出来事について自分の感想などを含めながら、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。 ・日本に住む外国の人たちにおすすめスポットの魅力が伝わるように、効果的な見出しをつけたり、説明文の順序に工夫をしたりしながらグループでポスターを作成している。 ・トルコと日本間の友好関係について理解するために、トルコと日本に関する英文を読んで、概要や要点を捉えている。 ・自分の考えを伝えるために国と国が友好関係を築くために大切なことについて理由も含めて簡単な語句や文などを用いて書いている。	・ペーパーテスト中(定期テスト・実力テスト・単元テストなど)の長文読解、英作文の問題の結果。 ・ライティング課題の作成、発表、作品の制作や表現等の多様な活動の中で見取る。 ・パフォーマンス課題の結果など
			主体的に学習に取り組む態度	・修学旅行を快適に過ごすために、クラスメートが納得できるようなルールを書くようにしている。 ・レストランで食事をするために、自分が食べたいものやおすすめのメニューなどについて、伝えたり、たずねたりしようとしている。 ・相談にきた人の悩みを解決するために、悩んでいる内容を理解し、実行しやすいアドバイスを伝えようとしている。 ・自分の考えや気持ちが相手に伝わるように、自分を取り組めそうな省エネ対策について、現状と比較しながらわかりやすく伝えようとしている。 ・自分の近況を相手に伝えるために、最近の出来事について自分の感想などを含めながら、簡単な語句や文などを用いてまとまりのある文章を書くようにしている。 ・日本に住む外国の人たちにおすすめスポットの魅力が伝わるように、効果的な見出しをつけたり、説明文の順序に工夫をしたりしながらグループでポスターを作成しようとしている。 ・トルコと日本間の友好関係について理解するために、トルコと日本に関する英文を読んで、概要や要点を捉えようとしている。 ・自分の考えを伝えるために国と国が友好関係を築くために大切なことについて理由も含めて簡単な語句や文などを用いて書くようにしている。	・パフォーマンス課題での取り組みや発表への姿勢 ・生徒による自己評価や相互評価の様子や記述内容 ・宿題などの提出物など
英語	三学期	Program 7 Unique Animals Program 8 A Hope for Lasting Peace Power-Up 5 飛行機のアナウンスを聞こう Step 5 Our Project 6 My Hero's魅力を伝えよう Reading 3 Apollo 13	知識・技能	・likeを使う比較表現やの意味や働きの理解 している。 ・likeを使う比較表現やの意味や働きの理解をもとに、自分の考えを伝えたり、何かの仕方をたずねたりする技能を 身に付けている。 ・受け身の意味や働きの理解している。 ・受け身の意味や働きの理解をもとに、身の回りのものについて伝える技能を身に付けている。 ・空港アナウンスで使われる表現や、運行状況や到着地の天候についての表現を理解している。 ・空港アナウンスで使われる表現や、運行状況や到着地の天候についての表現を聞き取る技能を身に付けている。 ・客観的事実や具体的な理由を述べるなど、説得力のある説明の仕方を理解している。 ・客観的事実や具体的な理由を述べるなど、説得力のある説明をする技能を身に付けている。 ・既習の言語材料の意味や働きの理解している。 ・既習の言語材料の意味や働きの理解をもとに、自分が尊敬する人物についてのスピーチ原稿を書く技能を身に付けている。 ・場面や登場人物の心情を表す表現を理解している。 ・場面や登場人物の心情を表す表現の理解をもとに、アポロ13号が当時おかれていた状況と乗組員の心情を時系列にそって読み取る技能を身に付けている。	・ペーパーテスト(定期テスト・実力テスト・単元テストなど)中の文法問題、語彙の問題、リスニング問題の結果。 ・実際に知識や技能を用いる学習場面を設け、様子を見る。 ・提出物の内容など
			思考・判断・表現	・クイズ大会で高得点を得るために、動物の特徴についてわかりやすい語句や表現を使って順序も考慮しながら書いている。 ・自分が好きなキャラクターについて相手にわかってもらえるように、由来や好きな理由など、さまざまな情報をまとめて詳しく伝えている。 ・自分が尊敬する人物の魅力伝えるために、その人物に関する情報を簡単な語句や文を用いて書いている。 ・アポロ13号の帰還を可能にしたものは何かを理解するために、アポロ13号に関する英文を読んで、概要や要点をとらえている。 ・アポロ13号に関する英文を読んで自分が感じたり、考えたりしたことを相手に伝えるために、理由も含めて簡単な語句や文で書いている。	・ペーパーテスト中(定期テスト・実力テスト・単元テストなど)の長文読解、英作文の問題の結果。 ・ライティング課題の作成、発表、作品の制作や表現等の多様な活動の中で見取る。 ・パフォーマンス課題の結果など
			主体的に学習に取り組む態度	・クイズ大会で高得点を得るために、動物の特徴についてわかりやすい語句や表現を使って順序も考慮しながら書くようにしている。 ・自分が好きなキャラクターについて相手にわかってもらえるように、由来や好きな理由など、さまざまな情報をまとめて詳しく伝えようとしている。 ・自分が尊敬する人物の魅力伝えるために、その人物に関する情報を簡単な語句や文を用いて書くようにしている。 ・アポロ13号の帰還を可能にしたものは何かを理解するために、アポロ13号に関する英文を読んで、概要や要点をとらえようとしている。 ・アポロ13号に関する英文を読んで自分が感じたり、考えたりしたことを相手に伝えるために、理由も含めて簡単な語句や文で書くようにしている。	・パフォーマンス課題での取り組みや発表への姿勢 ・生徒による自己評価や相互評価の様子や記述内容 ・宿題などの提出物など